

骨塩量を測定し、骨粗鬆症を予防する方法 毎年流行する感染症を予防する体験型手洗い講習会



高齢者が元気で長生きするためには、骨折などをしないように丈夫な骨が必要です。骨粗鬆症は女性に多い病気で、70歳以上になると70%が骨粗鬆症といわれています。骨密度と感染症を予防する手洗いは、どちらも年に1回はチェックしたいものです。今回、武庫公民館と園田学園女子大学との共催により、地域住民を対象とした講習会を開催します。

① 骨塩量を測定し、骨粗鬆症の予防方法や治療について学習します。

測定結果をお渡しして、説明をします。

② インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症から身を守る【体験型手洗い講習会】

毎年流行するこれらの感染症について知っていただき、手洗いチェッカーを使って、洗い残し
やすい部分を実際に体験して、正しい手洗いの方法を学習します。

とき 平成30年9月7日(金) 午後1時30分～3時30分

ところ 武庫公民館学習室

定員 先着20人

この講座は「宗家いまカラダポイント」が
20ポイント付与されます。

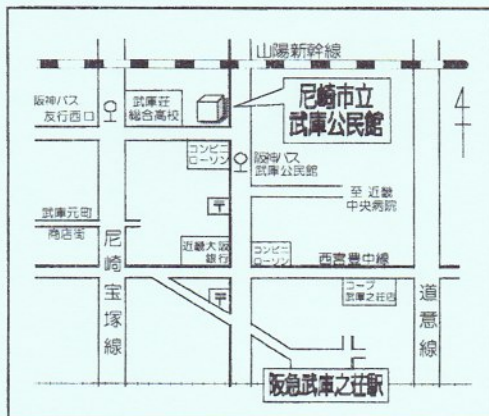
申込み 8月6日(月) 9時～

受講料 無料

◎講師 園田学園女子大学 人間健康学部

教授 山本 恭子

准教授 田淵 正樹



申込み・お問合せ 武庫公民館

尼崎市武庫之荘8丁目1-1

電話 (06) 6432-1177

Fax (06) 6432-1129

※ 公民館は、学びを通して人と人が手を結び大きな輪となり地域の力となることを応援します。